



大阪借行社の玄関(追手門学院小学校の校舎)



<大阪借行社附属小学校>

「国家有為の人物の育成」を目指し、「将来の日本発展の原動力となる人材は小学校時代から育成すべきである」という思想をもって設立されたのが大阪借行社附属小学校です。設立は明治21年（1888）、設立者は薩摩藩出身の高島鞆之助（1844-1916）です。建学の精神は、高島鞆之助が生まれ育った薩摩藩（鹿児島）の「郷中（ごちゅう）教育」（儒教の思想に則り、武士の子弟は幼少の頃から互いに学問や武芸の修練に努めて切磋琢磨すること、礼儀を正しくして品性を高め、秩序を守ること、年長者は自主的に年少者や弱者をいたわること）が基礎となっています。この大阪借行社附属小学校は戦後中学、高校、大学、幼稚園が設置され、追手門学院と名称変更され現在に至っています。

104 西の丸乾櫓

- ▶ 重要文化財に指定されています。西の丸の北西角にある隅櫓でL字型の二回造りとなっている櫓です。千貫櫓と同時期の元和6年（1620）に創建された城内最古の建物です。1回と2階の面積が同じで、このような造りは全国の城郭にも類例が無いそうです。



追手門学院側から見た乾櫓



西の丸庭園側から見た乾櫓



105 東町奉行所跡

大阪府中央区大手前1

- ▶ 江戸期、大坂には東町と西町の町奉行所がありました。両奉行所は月番制(一月交替)。最初は両奉行所ともこの地にありました。享保9年(1724)に大火があり、両奉行所とも焼失しました。西町奉行所はその後別の地に移り、東町奉行所はこの地に残りました。天保8年(1837)2月に起こった乱の首謀者 大塩平八郎は、東町奉行所の与力を務めていました。



106 明治新政府 外国事務局跡

大阪府中央区大手前1

- ▶ 明治維新後、新政府の「外国事務局」が東町奉行跡地に設置されました。外国事務局とは現在の外務省にあたります。政権交替早々に外交に関する難問(神戸事件、堺事件、大阪開市問題など)が生じました。これら難局を乗り切るため、外国事務局総督に山階宮二品晃親王、三条実美、伊達宗城、東久世通禧、沢 宣嘉が任命されました。歴代の外務大臣一覧をご参照ください。



四賢候の一人 伊達宗城



七卿落ちの一人 東久世通禧



七卿落ちの一人 沢 宣嘉

歴代外務大臣一覽

就任年月日		官職名	姓名
慶応	4. 1. 9	外国事務総裁	仁和寺宮(東伏見宮)三品嘉彰親王
慶応	4. 1. 17	外国事務総督	山階宮二品晃親王
			三条実美
			伊達宗城
			東久世通禧
慶応	4. 2. 20	外国事務局督	沢 宣嘉(慶応4.1.25付)
慶応	4. 閏4. 21	外国官知事	山階宮二品晃親王
明治	2. 6. 26	同	伊達宗城
明治	2. 7. 8	外務卿(外務省創設)	沢 宣嘉
明治	4. 7. 14	同	沢 宣嘉
明治	4. 11. 4	同	岩倉具視
明治	6. 10. 13	外務省事務総裁	副島種臣
明治	6. 10. 28	外務卿	副島種臣
明治	12. 9. 10	同	寺島宗則
明治	18. 12. 22	外務大臣(外務大臣と改称)	井上 馨
明治	20. 9. 16	兼任外務大臣	井上 馨
明治	21. 2. 1	外務大臣	伊藤博文
明治	21. 4. 30	同	大隈重信
明治	22. 12. 24	同	大隈重信
明治	24. 5. 6	同	青木周蔵
明治	24. 5. 29	同	青木周蔵
明治	25. 8. 8	同	榎本武揚
明治	29. 5. 30	兼任外務大臣	陸奥宗光
明治	29. 9. 18	同	西園寺公望
明治	29. 9. 22	外務大臣	西園寺公望
明治	30. 11. 6	同	大隈重信
明治	31. 1. 12	同	西徳二郎
明治	31. 6. 30	兼任外務大臣	西徳二郎
明治	31. 11. 8	外務大臣	大隈重信
明治	33. 10. 19	同	青木周蔵
明治	34. 6. 2	兼任外務大臣	加藤高明
明治	34. 9. 21	外務大臣	曾禰荒助
明治	39. 1. 7	同	小村寿太郎
明治	39. 3. 3	兼任外務大臣	加藤高明
明治	39. 5. 19	外務大臣	西園寺公望
明治	41. 7. 14	兼任外務大臣	林 董
明治	41. 8. 27	外務大臣	寺内正毅
明治	44. 8. 30	同	小村寿太郎
大正	元. 12. 21	兼任外務大臣	内田康哉
大正	2. 1. 29	外務大臣	桂太郎
大正	2. 2. 20	同	加藤高明
大正	3. 4. 16	同	牧野伸顯
大正	4. 8. 10	兼任外務大臣	加藤高明
大正	4. 10. 13	外務大臣	大隈重信
大正	5. 10. 9	兼任外務大臣	石井菊次郎
大正	5. 11. 21	外務大臣	寺内正毅
大正	7. 4. 23	同	本野一郎
大正	7. 9. 29	同	後藤新平
大正	10. 11. 13	同	内田康哉
大正	11. 6. 12	同	内田康哉
大正	12. 9. 2	兼任外務大臣	内田康哉
大正	12. 9. 19	外務大臣	山本権兵衛
大正	13. 1. 7	同	伊集院彦吉
大正	13. 6. 11	同	松井慶四郎
大正	15. 1. 30	同	幣原喜重郎
昭和	2. 4. 20	兼任外務大臣	幣原喜重郎
昭和	4. 7. 2	外務大臣	田中義一
昭和	6. 4. 14	同	幣原喜重郎
昭和	6. 12. 13	兼任外務大臣	幣原喜重郎
昭和	7. 1. 14	外務大臣	犬養 毅
昭和	7. 5. 26	兼任外務大臣	芳沢謙吉
昭和	7. 7. 6	外務大臣	斎藤 実
昭和	8. 9. 14	同	内田康哉
昭和	9. 7. 8	同	内田康哉
昭和	11. 3. 9	兼任外務大臣	広田弘毅
昭和	11. 4. 2	外務大臣	広田弘毅
昭和	12. 2. 2	兼任外務大臣	有田八郎
昭和	12. 3. 3	外務大臣	林銑十郎
昭和	12. 6. 4	同	佐藤尚武
昭和	13. 5. 26	同	広田弘毅
昭和	13. 9. 30	兼任外務大臣	宇垣一成
昭和	13. 10. 29	外務大臣	近衛文麿
昭和	14. 1. 5	同	有田八郎
昭和	14. 8. 30	兼任外務大臣	有田八郎
昭和	14. 9. 25	外務大臣	阿部信行
昭和	15. 1. 16	同	野村吉三郎
			有田八郎

			右
昭和			良
和			德
昭和		任	機
昭和			
和			重
昭和			重
昭和		任外務	光
和		臣兼大	木
昭和			良
昭和			德
昭和			葵
昭和			
昭和			
昭和		外務大臣臨時代理内閣総理大臣	
昭和			
昭和			
和		務	
昭和		外務大臣臨時代理内閣総理大臣	
昭和			
昭和			
和			男
昭和			男
和			重
昭和			重
昭和			重
昭和		任外務	
昭和		外務大	信
昭和		任	信
和		外務大	藤山愛一郎
昭和			藤山愛一郎
昭和			
昭和			芳
昭和		同	芳
昭和		同	椎名悦三郎
昭和			椎
昭和			
昭和			
昭和		外	愛知揆一
昭和			
昭和			芳
昭和			芳
昭和			
昭和			
昭和			
昭和			
昭和			
昭和			
昭和			雄
昭和			郎
昭和			郎
昭和			
昭和			佑
平成	元		山
平成			山
平成			山
平成		同	辺美智雄
平成		同	